



校訓『誠健勤和』

富良野西中学校



《学校だより》

令和5年12月21日

12月号

12月の西中

ZERO 運動月別目標
「悔いのないように
過ごそう」

月別 保健目標
「風邪の予防に
努めよう！」

充実した冬休みに

校長 千葉 良彦

今月初めに、81 개국・地域から約 69 万人が参加した 15 歳の子どもの学力を測る国際学力調査“PISA 調査”の結果が公表されました。

「数学の成績」・「教育におけるウェルビーイング」・「教育の公平性」のすべてにおいて安定や向上が見られた国（地域）は、日本、韓国、リトアニア、台湾のみだったことから、OECD はこの 4 つをレジリエントな国（地域）としています。

- * ウェルビーイングは、肉体的、精神的、そして社会的にも、すべてが満たされた幸福な状態のこと（学校だより 6・7月号を参照ください）。
- * レジリエンスは、困難な状況にあってもしなやかに適応して生き延びる力のことで、柔軟性やストレス耐性ともいわれます。

“ウェルビーイング”と“レジリエンス”は、社会に出たときに自分の力で生きていくうえで大切な要素とされています。

さて、【生徒の皆さんへ】

中学生ともなると、「大人は正しいのか？」と疑問に思うときがあるかもしれません。たとえば「あなたのためを思っている」と言われても、いま一つ納得できないとか……。そんなときは、「何がどう私のためになるのか、もう少し具体的に説明してもらえますか？」と伝えてみるのも、一つの手かもしれません。

残念ながら、大人がすべて正しいとは限りません。大人になったら自然としっかりするだろうと思うかもしれませんが、決してそんなことはありません。間違いを重ねながらも、何が正しいのかを自分で考え続けることで、経験値が高まり、レジリエンス（しなやかさ）を身に付けたしっかりとした大人になっていくのです。

皆さんには、年齢をクリアしただけの成人（大人）ではなく、“自分の頭で考えられる”大人になってほしい。働くことに生きがいを感じ、働くことが楽しいと思える、ウェルビーイング（幸福）な人生を送ってほしいと願っています。

【保護者の皆様へ】

冬休みを迎え、保護者の皆様におかれましては、これまで以上にお子様と触れ合う機会やお時間があるかと存じます。

子育ては本当に難しく、保護者として何が正解なのかわからないままわが子が巣立っていった……。そんな感想をもたれる先輩諸氏も数多くいらっしゃるようです。

“大人は、子どもの将来のために、どんな言葉がけを意識すれば良いのか”。

そんな疑問に向き合った調査の結果を、右で紹介させていただきます。

【「偉いね」と「頑張ったね」 自立心高める“褒め方”はどっち？】

(ABC NEWS)

子どもは、親から褒（ほ）められる時、「1. 頑張ったね」と努力を評価されると、「2. 偉いね」と言われるより自立心が高まるという、興味深い研究結果が発表された。神戸大と同志社大の研究チームは、褒め方、叱り方が子どもの将来に与える影響についてアンケートを実施。

それによると、子どものころ、親にほめられた時に、「2. 偉いね」と声を掛けられた人より、「1. 頑張ったね」と言われた人の方が、進学先などの進路を自発的に決定する自立心が高かった。

また、「3. 褒美をもらった」人は、「2. 偉いね」と言われた人より、さらに数値が低かった。

研究チームは、「3. 褒美をもらう」といった結果重視より、過程を重視する「1. 頑張ったね」の方が、自立性が高まるのではないかと分析している。

【子の叱り方「次は頑張ろうね」 成人後の自立心などに好影響】

(共同通信)

子どもを叱る際、「次は頑張ろうね」と励ました方が、原因を迫及したり罰を与えたりするよりも、成人後の自立心や計画実行能力に良い影響を与えるとの研究結果を、神戸大・同志社大チームが発表した。

子どもの頃の叱られ方について、「1. 次は頑張ろうね」、「2. どうしてできないの」、「3. 罰を与えられた」の3グループに分類。

進学先や就職先をどの程度自立的に決めたかなど、四つを指標として比較したところ、「1. 次は頑張ろうね」と励まされたグループは、全ての指標で最高となった。

保護者・地域の皆様におかれましては、本年も大変お世話になりました。

来る 2024 年は、今年以上に皆様と交流できますことを願うとともに、皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたします。

良いお年をお迎え下さいますことを心よりお祈り申し上げます。

1 学年自然体験学習α 発表会

12月14日（木）、1年生の参観授業で「自然体験学習 α」の発表会を行いました。6月から、半年かけて取り組んだ探究学習の成果を、班で発表することができました。

フラノデザインの原田さん、中村さんから学んだ様々な動画作成の技術を使い、各班、創意工夫をしてわかりやすく発表していました。

多数の保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。



多数のご参観ありがとうございました

12月11日から14日にかけて、参観日を設けました。1年生は総合的な学習の時間、2年1組は美術科、2年2組は家庭科、3年1組は数学、3年2組は国語の授業を行いました。どの学級の生徒も熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。

これからも生徒に寄り添った授業を展開していきたいと思っております。

12日、2学年PTA主催のレクでは、地域のカーリングチームのご協力により、楽しく親子レクを行うことができました。



児童生徒心に響く道徳教育

12月5日（火）に全校生徒参加の「心に響く道徳」を開催しました。今年度は富良野市社会福祉協議会の榊竹様、喜多様を講師として迎え、「地域福祉と社会福祉」について、ご講話いただきました。

大人になると、相談できる場所がないと思う人が多いそうです。

個人の力だけではどうすることもできない状況になったとき、どこに相談すれば良いか？

そんな時は、住んでいる市町村にある社会福祉協議会に相談できることを伝えていただきました。「相談していたらと助けられるけれど、相談されないと助けられない。相談は、早ければ早いほど、早く解決できる。」そうです。「みんなの幸せを実現することを目指す福祉の仕事」について考える貴重な時間になりました。



冬季休業中も一人で悩みを抱えないで

12月23日（土）から24日間の冬季休業に入ります。楽しい日々を過ごしてほしいと思いますが、もし悩みが生じた場合は、一人で悩まず話しやすい大人に相談してほしいと思います。また、電話相談等の方法もあります。くれぐれも一人で抱えこまないようにしてください。

じかんこども
24時間子供SOSダイヤル
0120-0-78310
(なやみ言おう)

年中無休で北海道教育委員会の
相談機関につながります。

大会・コンクール結果

【女子バレーボール部】・上川選抜中学校バレーボール大会 第3位
・mino sports cup 中学校バレーボール大会 第2位

【卓球部】・カワムラメディカル杯卓球大会 中学1年男子シングルス 第3位 猪股 さん (1-2)
中学2年男子シングルス 第3位 田中 さん (2-1)
第3位 佐々木 さん (2-2)
中学男子ダブルス 第3位 桑名 (2-2)・若林 (2-1) 組
第3位 田中 (2-1)・佐々木 (2-2) 組
中学1年女子シングルス 準優勝 谷口 さん (1-1)
中学2年女子シングルス 優勝 松谷 さん (2-1)
準優勝 田中 さん (2-1)
中学女子ダブルス 優勝 城座 (2-2)・松谷 (2-1) 組
準優勝 田中 (2-1)・笹村 (1-1) 組

・加盟団体冬季対抗戦 中学女子団体 3位

【コンクール】・富良野市いじめ・ネットトラブルZERO!メッセージコンクール

奨励賞 天間 さん (1-2)「私はね 強くなるって 決めたんだ」
大澤 さん (2-1)「笑顔の花を咲かせよう」
上坂 さん (3-1)「ノリじゃない 傷ついたなら 遊びじゃない」

・第51回中学生作文コンクール

入選 石黒 さん (1-2) 佐藤 さん (1-1)
鈴木 さん (1-1) 高橋 さん (1-2)
柳澤 さん (1-2) 吉田 さん (1-2)
奨励賞 加藤 さん (1-1) 加藤 さん (1-2)



保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対し、ご理解・ご支援をいただき誠にありがとうございました。これからも子どもたちのために学校と家庭、地域が連携して教育活動を行っていききたいと思います。来年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

13 (土) 北海道ソロ・アンサンブルコンテスト
旭川地区予選 (~14日)
16 (火) 3学期始業式
17 (水) 3年学年末テスト
常任委員会

19 (金) 英検
26 (金) 漢検

※12月29日(金)~1月3日(水)は学校閉庁日です。この期間で何かございましたら、富良野市役所(TEL:39-2300)にご連絡ください。課業日に何かございましたら学校(TEL:22-2318)までご連絡ください。

